

# 第77回 通常総代会議案書

日時：2018年5月24日(木)午後6時15分～午後8時  
(受付 午後5時30分開始)

場所：オリーブスクエア2階 多目的ホール

議題：第1号議案 2017年度事業報告・決算関係書類承認の件  
第2号議案 2018年度事業計画及び予算決定の件  
第3号議案 役員報酬決定の件  
第4号議案 総代選挙規約・役員選挙規約・総代会運営規約改訂の件  
第5号議案 役員選挙の件  
第6号議案 議案決議効力発生の件

香川大学生生活協同組合

〒760-0016 高松市幸町1-1

TEL087-835-3120

## 第1号議案 2017年度事業報告書・決算関係書類等承認の件

2017年度事業報告書・決算関係書類等について承認をお願いします。

### 【1】2017年度活動のふりかえり

2017年度は下記のテーマを重点課題として取り組みました。

#### ① 組織活動及び運営

学生委員会、総代、新学期サポーター、PC講座スタッフ、英語講座スタッフ、オリジナルグッズ開発に関わってくれる学生、食育に関心のあるミールカード利用者等、生協に関わっている学生の交流を開始し、既存活動の共有・共同・協力、新規活動の共同実施等の検討を始めます。あわせて年間を通して全員が新入生のサポートを行えるよう活動の場を拡げていきます。

組合員懇談会を教育学部・法学部・経済学部で実施し、いただいた意見を大学とも共有し利用環境の改善を目指します。

#### ② 事業活動

食：ミールカードを中心に、学生の食事環境の充実、キャンパス間のサービス内容の格差縮小、食育活動を推進していきます。

学：4年間トータルでの学生組合員の学びと成長を考えていきます。

住：4(6)年間24時間サポートできる体制と環境作りを進めていきます。

#### 2017年度振り返り

- ① 2017年度新学期事業は、住まい紹介とパソコン・ミールカードを中心に据えて、パソコン総合サポート、英語講座、生協ICマネーを提案しました。パソコンの受注数は前年比で45台増加し、ミールカードの申込者数は在校生も足すと256名増加、ICマネーも在校生を足すと98名増加しました。ミールカードとICマネーの利用者増は、生協の資金繰りの改善でも貢献しています。
- ② ミールカード利用者の増加により、食堂事業及びショップの内製商品利用高は大きく伸長しました。そのため医学部・工学部・農学部食堂でのお昼休み時間の混雑がひどくなっています。
- ③ 英語講座、パソコン講座の申込者数は前年より少なくなりました。公務員講座の申込者数も減少、また講座途中での解約も発生しています。公務員試験の合格者数（実人数）は昨年並となっています。
- ④ パソコンや書籍を中心とした大学の校費利用は前年より増加しました。2017年1月より医学部・工学部・農学部は正規職員不在の状況が続いています。
- ⑤ 食堂の利用高伸長もあり2017年度の当期剰余金は4,355万円、当期末処分剰余金も3,176万円となり、2014年度から続いていた累積欠損金は解消することができました。
- ⑥ 学生委員会は今年も「新入生の集い」「ケーキバイキング」などの活動を行ってきました。新入生4名が加入し、日常的にも共済給付ボード作成などの活動ができています。またPC総合サポート講座や英語講座、新入生サポートセンターなどで多くの学生が先輩サポーターとして活躍しています。
- ⑦ 11月から12月にかけて教育学部・法学部・経済学部で組合員懇談会を実施し、学部生・院生・教職員の方から生協に対する要望や意見をいただきました。またいただいた意見は幸町キャンパスでの意見要望としてまとめて各学部の学務係に報告をいたしました。
- ⑧ 「育児介護休業規定」「出向規定」「移籍規定」「就業規則」「通勤手当支給細則」を整備・作成いたしました。
- ⑨ 大学の修学支援特定基金に77万2千円を寄付しました。

## 【2】2017年度決算報告

### 1. 損益報告

#### 1) 供給高・ポイント還元

総供給高：10億4,755万円（前年比+4.1%、予算比+0.4%）

食堂全店が伸長し、前年度より4,134万円の供給高増でした。

#### ● ショップ合計 6億5,003万円（前年比+1.2%、予算比△2.2%）

- 分類別では、新入生のパソコン購入者数が増えたことで機器の供給高が前年比で8.9%伸長しました。またミールカードでも購入できる内製商品に引っ張られる形で、食品菓子・パン米飯・飲料デザート等の供給高も前年比で5~8%伸長です。

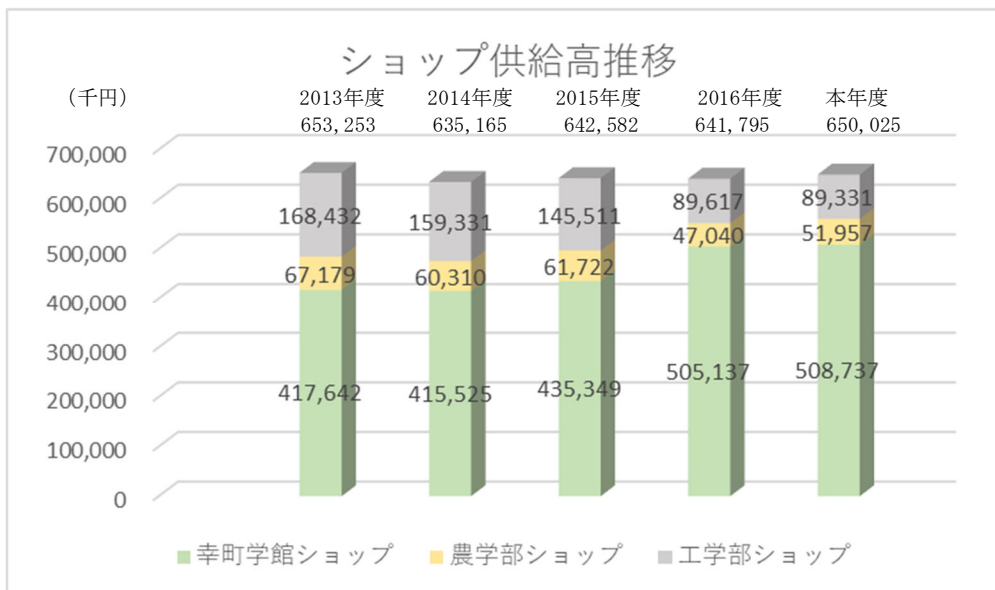
校費利用高は7,332万円で前年比1.6%伸長です。

書籍・講座関係は教科書を中心とした専門書の供給高が前年比・予算比ともに伸長し、英語講座や公務員講座が前年比でダウンしました。特に講座関係は前年を大きく上回る予算のため予算比で30%以上ダウンしています。

旅行分野では、海外旅行が622万円（前年959万円・予算1,355万円）で大きくダウンしました。

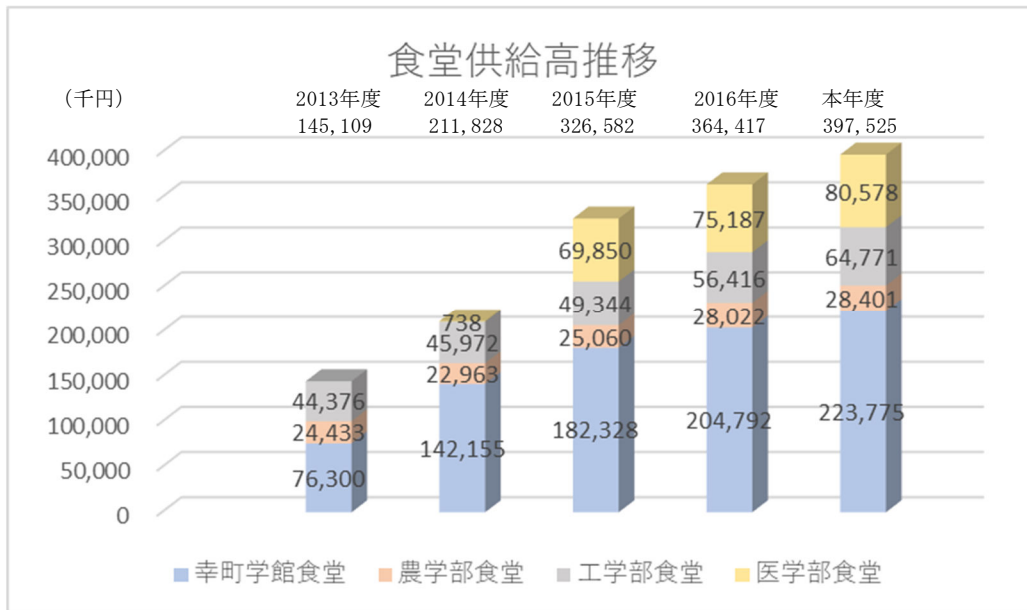
ICマネー利用を強化し、931万円のポイント還元を行いました。

- 店舗別では、学館ショップ5億874万円(前年比+0.7%、予算比△4.0%)、農学部ショップ5,196万円(前年比10.4%、予算比10.0%)、工学部ショップ8,933万円(前年比△0.3%、予算比2.2%)でした。

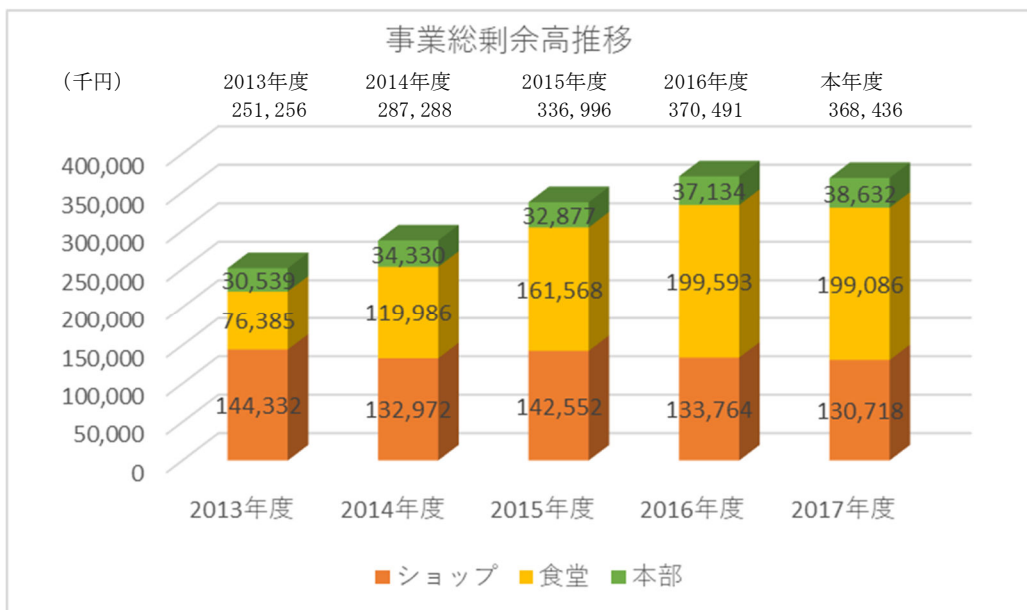


#### ● 食堂部合計 3億9,753万円（前年比+9.1%、予算比+4.9%）

- ミールカード利用者が2,050名で前年比で276名増加しました。
- 分類別では朝食利用サービス開始3年目で朝定・モーニングが前年比9.7%伸長しました。
- カフェで提供している焼き立てパンとパスタ類は前年比でそれぞれ15.0%、29.4%伸長しました。
- 讃どんで提供している麺類会員は36.2%伸長しました。
- 懇親会やケータリングなどのコンパ分類は1,500万円の利用をいただいています。
- ポイント還元356万円を行いました。
- 店舗別では、学館店(カフェ含む)2億2,378万円(前年比+9.2%、予算比+8.1%)、農学部店2,840万円(前年比+1.3%、予算比+1.7%)、工学部店6,477万円(前年比+14.8%、予算比+8.6%)、医学部店8,058万円(前年比+7.1%、予算比△4.6%)です。



- 2) **事業総剰余金**：3億6,844万円（前年比△0.6%、予算比+1.2%）  
**供給剰余金**：3億1,893万円（前年比△0.8%、予算比+1.9%）  
**その他事業手数料収入**：4,259万円（前年比+1.3%、予算比△3.3%）  
 住まい事業収入など主に斡旋・手数料関係の収入です。  
**共済受託手数料収入**：695万円（前年比△0.8%、予算比△1.4%）



- 3) **総経費**：3億2,202万円（前年比△2.5%、予算比△7.2%）  
**人件費**：1億8,447万円（前年比△4.9%、予算比△9.0%）  
**物件費**：1億3,755万円（前年比+0.9%、予算比△4.5%）  
 減価償却費が対前年で477万円減少しています。広報費が205万円減少しています。大学の入学者選抜要項がWeb化されたことに伴い、受験時の宿泊案内パンフを作成しなくなったことが大きな要因です。
- 4) **事業剰余金**：4,642万円（前年比+15.5%、予算比+167.6%）  
 供給高の伸長と経費の減少で、事業剰余金は伸長しています。

## 5) 事業外損益

事業外収益294万円の内訳は、受取利息2万円、受取配当金3万円、雑収入288万円

雑収入の内訳は、2015年度卒業生出資金未引取分61件84万円、保険関連収入122万円、その他82万円

事業外費用36万円の内訳は、雑損失36万円。

雑損失の内訳は、商品廃棄損22万円、供給未収金整理損6万円、その他8万円

6) 経常剰余金 4,899万円

7) 税引前当期剰余金 4,899万円

8) 当期剰余金 法人税等782万円、法人税等調整額△238万円を計上し、結果4,355万円です。

9) 当期末処理剰余金：前期首繰越損失金1,179万円に当期剰余金4,355万円を加え、計3,176万円が当期末処理剰余金となり、次期に引き継がれます。

## (比較損益計算書)

勘定科目	2017年度実績	2017年度予算	予算比	2016年度実績	前年比	(単位 千円)		
						2015年度実績	2014年度実績	2013年度実績
供給高	1,047,550	1,043,441	0.4%	1,006,212	4.1%	969,164	846,993	798,362
供給値引	19,025	4,078	366.5%	1,247	1425.7%	19,764	2,368	9,079
純供給高	1,028,525	1,039,363	-1.0%	1,004,965	2.3%	949,400	844,625	789,282
供給剰余金	318,925	313,098	1.9%	321,468	-0.8%	289,133	240,214	205,189
その他事業収入計	49,511	51,070	-3.1%	49,023	1.0%	47,863	47,075	46,067
事業総剰余	368,436	364,168	1.2%	370,491	-0.6%	336,997	287,289	251,256
人件費合計	184,469	202,743	-9.0%	193,976	-4.9%	194,083	166,422	144,972
物件費合計	137,549	144,078	-4.5%	136,332	0.9%	164,412	167,975	104,237
事業経費合計	322,018	346,821	-7.2%	330,308	-2.5%	358,495	334,397	249,209
事業剰余金	46,418	17,347	167.6%	40,183	15.5%	△ 21,499	△ 47,109	2,047
事業外収益	2,936	1,897	54.8%	3,411	-13.9%	1,134	3,191	3,150
事業外費用	364	0		102	256.9%	1,720	380	8,607
経常剰余金	48,990	19,244	154.6%	43,492	12.6%	△ 22,085	△ 44,297	△ 3,409
特別損益	0	0		1,105	-100.0%	0	△ 3,603	0
税引前当期剰余金	48,990	19,244	154.6%	44,597	9.9%	△ 21,994	△ 47,900	△ 3,914
法人税等	7,823	800	877.9%	2,758	183.6%	770	770	360
法人税等調整額	△ 2,384	0		11,017	-121.6%	△ 5,908	△ 3,581	△ 968
当期剰余金	43,551	18,444	136.1%	30,822	41.3%	△ 16,856	△ 45,090	△ 3,307
当期首繰越剰余金	△ 11,793			△ 42,615	-72.3%	△ 25,759	9,331	12,638
当期末処理剰余金	31,758			△ 11,793	-369.3%	△ 42,615	△ 35,759	9,331

## 2. 財務報告（2018年2月28日現在）

- 1) 資産合計は、4億4,217万円で、前年度末より7,464万円増加しました。
  - ・流動資産は、3億1,252万円で、前年度より9,103万円増加しました。
  - ・固定資産は、1億2,966万円で、前年度より1,639万円減少しました。
- 2) 負債合計は、2億8,529万円で前年度末より2,503万円増加しました。
  - ・買掛金は5,616万円で前年度より861万円の減少です。
  - ・ミールカードとICマネー利用者が増え、前受金が前年度より2,855万円増加しました。
- 3) 純資産合計は、1億5,689万円で、前年度末より4,964万円増加しています。
  - ・新入生への要請出資金2万円変更4年目のため、組合員出資金は607万円増加しています。

### （比較貸借対照表）

												(単位 千円)			
資産の部		2017年度	構成比	2016年度	構成比	増減	負債・資本の部		2017年度	構成比	2016年度	構成比	増減		
(資産の部)							(負債の部)								
流動資産		312,515	71	221,483	60	91,032	流動負債		250,704	57	225,901	61	24,803		
現金預金		227,767	52	136,980	37	90,787	買掛金		56,164	13	64,771	18	△ 8,607		
供給未収金		27,320	6	27,726	8	△ 406	前受金		134,111	30	105,561	29	28,550		
商品		27,687	6	31,049	8	△ 3,362	預り金		30,027	7	29,953	8	74		
未収金		22,219	5	21,153	6	1,066	その他流動負債		30,402	0	25,616	0	4,786		
その他流動資産		7,522		4,575		2,947	固定負債		34,583	8	34,360	9	223		
固定資産		129,657	29	146,045	40	△ 16,388	負債合計		285,287	65	260,262	71	25,025		
有形固定資産		51,215	12	61,893	17	△ 10,678	(純資産の部)								
建物及び附属設備		21,244	5	24,318	7	△ 3,074	組合員資本		156,885	35	107,246	29	49,639		
車両運搬具		495	0	175	0	320	出資金		125,126	28	119,059	32	6,067		
器具備品		29,477	7	37,401	10	△ 7,924	剰余金		31,759	7	△ 11,793	△ 3	43,552		
無形固定資産		1,596	0	1,596	0	0	当期末処分剰余金		2,759	1	△ 11,793	△ 3	14,552		
その他固定資産		76,845	17	82,555	22	△ 5,710	(うち当期剰余金)		(43,551)	△ 10	(30,821)	0	28,234		
							純資産合計		156,885	35	107,266	29	49,619		
資産合計		442,172	100	367,528	100	74,644	負債・資本合計		442,172	100	367,528	100	74,644		

# 監査報告書

私たち監事は、2017年3月1日から2018年2月28日までの理事の職務の執行を監査いたしました。2017年度の財産ならびに業務の執行状況について、監査した結果、次の通り報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、監査基準に準拠して、他の監事と情報の交換を図るほか、理事その他職員と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、貴生協の業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基き、当該事業年度に係る事業報告書及びその付属説明書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類について検討しました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告書等の監査結果

- 1) 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な行為は認められません。

### (2) 決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその付属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその付属明細書は、組合の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示していると認めます。

### (3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2018年4月25日

香川大学生生活協同組合

監事 溝渕 彰



監事 斉藤 和也



監事 宮下 真来枝



監事 酒井 善紀



## 第2号議案 2018年度事業活動計画及び予算決定の件

### 【1】2018年度事業活動方針

#### ●生協をめぐる環境

社会情勢 総務省統計局の労働力調査（2017年10月分）によると、就業者数と雇用者数は58か月連続の増加、完全失業者数は89か月連続の減少、完全失業率は2.8%となっています。また15歳～64歳人口の2017年6月確定値は前年同月比で60万7千人減少、65歳以上人口は58万6千人増加。65歳以上の就業者数は770万人と13年連続で増加しています。一方消費者物価指数は前年同月比で0.2%の上昇、消費支出は同 0%、実収入は同 2.9%の増加となっています。2018年より扶養者控除及び扶養者特別控除の控除額が改正されます。給与所得者の合計所得金額が900万円以下で、配偶者の給与等の収入金額が150万円以下の場合、配偶者控除及び配偶者特別控除の控除額は38万円になります。

大学情勢 2018年より18歳以下の人口が減少期に入ります。私立大学では定員割れが既に全体の5割近くに達しており閉校する大学も出てきています。第4次国立大学法人等施設整備5カ年計画（平成28～32年度）でサステイナブルキャンパスの形成が整備内容としてあげられており、今後5年間でエネルギー消費原単位5%以上の削減、次世代の社会モデルとなる施設整備の推進が掲げられています。

香川大学 2018年より学部定員が変わるため、4年後の2021年にはキャンパス別学生人口（定員）が以下に変更になります。

幸 町キャンパス：2,640人→2,280人  
医学部キャンパス： 891人→ 951人  
工学部キャンパス：1,040人→1,320人  
農学部キャンパス： 600人（変更なし）

2018年8月より半年間、幸町南1号館の改修工事が予定されています。工事期間中は教室が法学部と教育学部に分散され、お昼休みの学生の動きが変わる可能性があります。

第3期中期目標及び中期計画の中で、地域社会との連携や受入留学生、派遣学生の強化・推進があげられています。

学部生 1ヶ月の収入は自宅生で64,070円、下宿生で123,890円、支出は自宅生で62,590円、下宿生で120,750円、となっており、1990年や1995年の調査結果とほぼ同等となっています。奨学金を受給している学生の割合は32.0%（自宅生26.8%・下宿生35.7%）で、貸与型奨学金の受給金額は57,480円（自宅生57,110円・下宿生57,650円）となっています。また仕送り0円の学生の割合は7.1%です。就職に対して不安を感じている学生の割合は73.9%となっています。1日の読書時間は平均23.6分で、0分の学生の割合は53.1%です。授業時間を除く1日の勉強時間は平均49.6分で、文系32.2分・理系59.6分・医歯薬系72.8分となっています。スマホの利用時間は1日平均172.3分、スマホを持たない人の割合は0.8%です。国内外の政治の動向に関心がある学生の割合は61.9%、日本の未来は明るいと思っている学生の割合は31.9%です。（第53回学生生活実態調査より 2017年10～11月実施・30大学・回収数10,021）

香大生 1か月当たりの食費「2万円未満」が44.7%（前回平成27年度は47.9%）です。1日の食事の回数は3回が68.3%（前回74%）と減少しています。就活に関して不安に思っていることで、「自分が何に向いているのか分からない」が29.8%（前回31.5%）です。就職に関する大学への要望では、「面接対策や履歴書作成などの実



「実践指導の充実」を希望している割合が23.6%、次いで「公務員・教員試験対策講座を開くなど各種試験の合格対策」が15.3%です。就職希望地域は、中四国近畿が72.9%、うち香川県25.6%・岡山県16.4%（出身地は香川県31.6%・岡山県25.4%）です。（平成29年度学生生活実態調査報告書より 回収数739）

## ●2018年度の重点課題

**組織活動** 総代との取組を増やします。組合員懇談会だけでなく、生協が行っている様々な取り組みに優先的に参加してもらうようにします。学生委員会、総代、新学期サポーター、PC講座スタッフ、英語講座スタッフ、オリジナルグッズ開発に関わってくれる学生、食育に関心のあるミラー、留学経験のある学生、留学生らとの連携を強化し、オープンキャンパスから始まる新学期活動をより多様化、多面化することで香川大学の魅力を今まで以上に受験生や新入生に伝えられるようにしていきます。

学生委員会活動計画

4月 新入生のつどい・ミールのつどい・総代準備・ケーキバイキング

5月 うどん作り・総代会

6～7月 セタ企画（短冊・流しそうめん）

8～9月 研修

10月 自転車無料点検・丼かパンのコンテンツ

2月 推薦生のつどい

## 事業活動

**方針** 引き続き学生組合員の食生活・住生活・学びと成長の支援及び環境の充実を目指していきます。生活の基盤となるべき食と住を全面的に大学生協がサポートすることで、学生が様々な活動に積極的に参加できる心身の充実を後方から支援していきます。環境の整備も大学と学生と生協が一体となって進めていくことで、香川大学の魅力や大学生活の充実に繋がるようにしていきます。

**（施設）** 農学部食堂の改修工事が決定した場合、5,000万円の投資をして厨房内レイアウトと導線の変更、レジの増設を実施します（予算化はしません）。医学部食堂・工学部食堂についても、引き続きホール面積及び席数増に向けて大学への提案を行います。食堂の施設提案に関しては、大学（学部）の意向も聞きながら、学部として食堂施設をどうしたいのかが明確になるように、学部の教職員の方との関係を更に強くし定期的に打合せを行える環境を作る必要があります。幸町キャンパス内での食・住・学びのサービスの更なる充実を目指します。北キャンパス教育学部415教室周辺及び南キャンパスサークル棟周辺への施設提案と、連動してショップ空海とカフェ空海の業態変更、本部業務の一部ショップ移管の計画を作成します。平成30年秋に予定されている医学部書籍店舗の入札に参加します。生協が採用された場合は徳島大学生協か広島大学生協で事前に医書の業務研修を受けるようにします。

**（大学）** 大学と共同でオリジナルグッズの開発を行います。飲食物に関しては、大学生協の食品添加物使用基準に添って開発を行います。

**（消費税）** 2019年10月1日からの導入が予定されている軽減税率への対応の準備を開始します。対象商品と対象外商品、テイクアウトとイトイン、それぞれの商品管理及び提供サービスの整理を行います。

## 【2】2018年度予算案

- 総供給高予算は、前年比△2.6%の10億2,068万円です。
  - ・ショップは6億2,612万円で、前年比△3.7%
  - ・食堂は3億9,456万円で、前年比△0.7%
- 供給剰余高・その他事業収入は、前年比+0.7%の3億7,105万円です。
  - ・供給剰余高は3億1,778万円で、前年比△0.4%
  - ・その他事業収入は5,327万円で、前年比7.6%
- 総経費は、前年比+8.4%の3億4,899万円です。
  - ・人件費はパート職員数と夏季賞与分の増加もあり、前年比+11.3%の2億533万円です。
  - ・物件費は事業連合委託費の増加もあり、前年比+4.4%の1億4,366万円です。
- 事業剰余金は、前年比△52.5%の2,205万円です。
- 経常剰余金は、前年比△51.4%の2,383万円です。

勘定科目	2017年度実績	2018年度予算	予 算 比
供給高	1,047,550	1,020,680	-2.6%
供給値引	19,025	1,476	-92.2%
純供給高	1,028,525	1,019,204	-0.9%
供給剰余金	318,925	317,782	-0.4%
その他事業手数料収入	42,558	46,145	8.4%
共済受託手数料収入	6,953	7,120	2.4%
その他事業収入計	49,511	53,265	7.6%
事業総剰余	368,436	371,047	0.7%
役員報酬	8,031	8,252	2.8%
職員給与	37,786	39,288	4.0%
定時職員給与	123,091	139,590	13.4%
退職給付費用	3,307	4,232	28.0%
法定福利費	9,044	9,775	8.1%
福利厚生費	2,531	3,494	38.0%
役員退職給与引当金繰入損	679	700	3.1%
賞与引当金繰入額	0	0	#DIV/0!
人件費合計	184,469	205,331	11.3%
教育文化費	916	1,502	64.0%
広報費	8,023	8,199	2.2%
事務消耗品費	14,448	15,375	6.4%
物流費	2,080	2,200	5.8%
車輜運搬費	1,862	1,568	-15.8%
貸倒引当金繰入額	17	0	-100.0%
ポイント引当金繰入	0	0	#DIV/0!
施設維持管理費	6,686	7,078	5.9%
減価償却費	16,868	16,581	-1.7%
賃借料	831	1,063	27.9%
水道光熱費	23,584	23,824	1.0%
保険料	1,100	1,100	0.0%
委託料	9,839	11,810	20.0%
採用費用	2,232	2,202	-1.3%
調査研究費	339	222	-34.5%
会議費	1,982	2,040	2.9%
諸会費	3,357	3,332	-0.7%
渉外費	86	34	-60.5%
租税公課	556	164	-70.5%
通信交通費	6,365	6,723	5.6%
雑費	6,262	6,332	1.1%
事業連合委託費	30,116	32,314	7.3%
物件費合計	137,549	143,663	4.4%
事業経費合計	322,018	348,994	8.4%
事業剰余金	46,418	22,053	-52.5%
受取利息	20	0	-100.0%
受取配当金	33	30	-9.1%
雑収入	2,883	1,750	-39.3%
事業外収益	2,936	1,780	-39.4%
支払利息	0	0	#DIV/0!
雑損失	364	0	-100.0%
事業外費用	364	0	-100.0%
経常剰余金	48,990	23,833	-51.4%
特別利益	0	0	#DIV/0!
特別損失	0	0	#DIV/0!
特別損益	0	0	#DIV/0!
税引前当期剰余金	48,990	23,833	-51.4%
法人税等	7,823	0	-100.0%
法人税等調整額	△2,384	0	-100.0%
当期剰余金	43,551	23,833	-45.3%
当期首繰越剰余金	△11,793		-100.0%
当期末処分剰余金	31,758		-100.0%

### 第3号議案

### 役員報酬決定の件

1、役員の間年報酬については、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則に基づいて支給すること、及び各役員の間報酬額、支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを決定します。

- |     |        |    |         |
|-----|--------|----|---------|
| (1) | 理事の間報酬 | 総額 | 1,000万円 |
| (2) | 監事の間報酬 | 総額 | 50万円    |

### 第4号議案 総代選挙規約・役員選挙規約・総代会運営規約改訂の件

1、現行の規約には、「総代総数が定款で定めた下限に届くまで補充選挙を繰り返さねばならない」、「役員定数に満たない場合に再投票を行うが書面出席者が投票できない」、「総代会出席者の資格審査に組合員証の他に身分証明書も提示が必要」、等のような定めがあり、規約を遵守できない可能性があります。

総代選挙規約

(改廃)

第19条 この規約の改廃は、総代会の議決による。

役員選挙規約

(改廃)

第23条 この規約の改廃は、総代会において行なう。

総会及び総代会運営規約

(改廃)

第23条 この規約の改廃は、総代会の議決を必要とする。

第5号議案

第55期（2018年度）役員選出の件

定款第18条・第19条及び役員選挙規約に基づいて役員選挙を行います。  
理事・監事とも定数内のため、信任投票を行います。

役員定数 理事：12人以上、17人以内  
監事：2人以上、4人以内

役員区	氏名	所属等	
教職員理事	奥田 延幸	農学部教員	継続
	松井 剛太	教育学部教員	継続
	辻上 佳輝	法学部教員	継続
	井上 善弘	経済学部教員	新任
	荒木 伸一	医学部教員	新任
	石井 光治	工学部教員	新任
	望岡 亮介	農学部教員	継続
	谷本 伸夫	大学職員	新任
	澤井 行広	大学職員	新任
学生理事	長尾 くるみ	教育学部3年	新任
	大西 玖瑠美	法学部2年	新任
	佐々木 理那	経済学部2年	新任
	村井 颯希	創造工学部4年	新任
	小原 優理	農学部2年	継続
	結城 千晴	農学部2年	新任
員外理事	大木 積	生協職員	継続

役員区	氏名	所属等	
教職員監事	溝渕 彰	法学部教員	継続
	横山 佳充	経済学部教員	新任
	山西 祐二	大学職員	新任
学生監事	後藤 杏	医学部2年	新任

第6号議案

議案効力発生の特

行政官庁等の指示により一部字句の修正を必要とする場合は、決議の趣旨を誤らない範囲において、理事会に一任します。

【提案理由】

法務局、監督官庁等へ総代会報告を提出するにあたり、字句を修正する必要がある場合に備え、今後総代会の決議の趣旨に反しない範囲で、理事会の責任において対処することを定めようとするものです。